

宮永建設株式会社 SDGs行動宣言



2022年4月1日
宮永建設株式会社
代表取締役 宮永 雅己



SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことを指す。

2030年までに「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17の国際目標と169のターゲットで構成されている。

当社におけるSDGsの取り組み

当社は昭和30年創業より石狩川洪水防止や食料増産のための低湿地帯開発等、厳しい自然環境の中における土地改良事業に従事し、以来60年以上にわたり、独自の土木建築技術を発展させ、地域の住環境の整備と自然景観の保持の両立に努めてまいりました。

「我々は国土の開発に誠心誠意貢献する」という当社社是はSDGsの方向性とも一致しており、今後より一層、社会への価値創出と環境負荷軽減を追求、社会課題解決へ貢献して参ります。

SDGs重点課題と当社事業活動及び主な取り組み

①基盤づくり(土木事業)

排水性の悪い広大な泥炭地であった篠津地域ですが、当社含む土木建築関係者や農家、官民多くの関係者の協力と不断の努力により、今では日本有数の穀倉地帯となっております。険しい自然環境を克服する中で培ったノウハウを活用して、北海道のみならず、全国的な安心安全の生活インフラ維持、土壌改善による穀物の生産性向上に貢献してまいります。

【当社での主な取り組み】

- ・農地の区画整理及び水利施設の整備
- ・ICT技術の積極的導入
- ・ゼロカーボンの推進
- ・ゴミの分別と資源のリサイクル推進



②森づくり(造林造材事業)

当社はひとつひとつの苗木から豊かな生態系に満ちた森に成長するまで、数十年サイクルで樹木を育てる活動を行っております。間伐したり成長しきって伐採したりした木はバイオマス燃料や住宅の材料としてムダなく活用しております。森を育て、維持することで、地域社会に役立つとともに、脱炭素・地球温暖化対策にも貢献してまいります。

【当社での主な取り組み】

- ・高機能排ガス対策型機械の使用
- ・ICT機能搭載の重機使用
- ・アイドリングストップの徹底
- ・間伐材の有効利用
- ・刈草の有効利用(堆肥化)
- ・枝葉の有効利用(バイオ燃料)

